

アメリカにおけるスクールソーシャルワーカーの
質保証及び大学院教育に関する一考察

武田真理子

東北公益文科大学総合研究論集第41号 抜刷

2021年7月30日発行

研究論文

アメリカにおけるスクールソーシャルワーカーの 質保証及び大学院教育に関する一考察

武田真理子

1. はじめに

近年、貧困、虐待、いじめ、不登校をはじめとする子どもを取り巻く様々な問題の発生を背景に、日本の教育、福祉の領域において、スクールソーシャルワーク（以下、SSW）への期待が高まっている。SSWとは、「学校をベースにしてソーシャルワーク（福祉）的なアプローチによって、子どもたちの生活の質を高めるためのサポートをするということ」¹であり、スクールソーシャルワーカー（以下、SSWer）は学校におけるソーシャルワークの実践、つまり、子どもの環境への働きかけを行うことにより、子ども及び家庭の抱える問題の解決に資する専門職としての活躍が求められている。2008年度以降の文部科学省「スクールソーシャルワーカー活用事業」の実施により、令和元年度は全国に2,659人のSSWerが都道府県及び市町村教育委員会に採用され、学校等への配置、派遣が行われている。²

全国の社会福祉士・精神保健福祉士の養成校の連盟組織である一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟は、ソーシャルワークをベースとしたSSWerが全国で養成されていくことを目的に、2009年度より「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業」を実施し、2021年4月には63校が認定され³、専門職養成に取り組んでいる。東北公益文科大学はその中で初めての大学院における教育課程の設置認定を受け、2018年度より公益学研究科の正課プログラムとして「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程」を運営

¹ 特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会「SSWとは」
www.sswaj.org（閲覧日：2021年5月31日）

² 文部科学省初等中等教育局児童生徒課「スクールソーシャルワーカー活用事業に関するQ&A」令和3年1月。但し、文部科学省「スクールソーシャルワーカー活用事業」を適用せずに、自治体や学校が独自にSSWerを採用するケースも増えており、全国のSSWerの実人数は把握・公表されていない。また、文部科学省の令和3年度予算によると、1万の全中学校区に対する配置が掲げられており、目標達成までに大きな開きがあることが課題となっている。

³ 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業 認定課程設置校一覧（2021年4月現在）」

し、2021年3月に全国初となる修士号を取得した第1期修了生2名を輩出した。

以上の通り、日本のSSWの政策的な展開は14年目を迎えているが、文科省が把握している全国のSSWerの内、社会福祉士の資格保有者は61.0%、精神保健福祉士の資格保有者は31.9%に止まっており⁴、ほとんどが非正規の不安定な雇用形態で活動時間にも大きな制限があることなどの課題が明らかにされている。⁵ 一方で子どもを取り巻く問題は拡大傾向にあり、ソーシャルワークの知識と技法を身に付けた専門性の高いワーカーの養成と学校等への配置、及びSSWerのキャリア形成が日本の子どもの福祉、教育政策及と学校運営において喫緊の課題となっている。

SSWの源流であるアメリカでは、大学の学部だけでなく、大学院修士課程及び博士課程においてスペシフィック・ソーシャルワークの一領域としてSSWerの養成が行われており、学校、家庭、地域や他領域の専門職者から専門職人材として認知され、SSW実践が展開されている。⁶ 本稿では、専門性の高いSSW実践の拡大に大学院教育がどのように貢献をしているかということを中心にすることを目的とし、アメリカにおけるSSWの歴史を概観し、SSWerの教育と質保証のしくみを明らかにした上で、アメリカの大学院におけるSSWer教育の目標・理念、カリキュラム、教育方法、学位取得プロセス等の分析を行う。尚、分析対象とする大学は、アメリカ国内でソーシャルワーク並びにSSW教育において最も歴史のあるコロンビア大学とし、大学及び関係機関の資料に基づき分析を行う。その上で、日本国内におけるこれからの大学院におけるSSWer教育のあり方について考察する。

2. アメリカにおけるスクールソーシャルワークの歴史

アメリカでは、1906年にニューヨーク市のセツルメントハウスであるハートレー・ハウスにおいてメアリー・マロットが行った「Visiting Teacher」（訪

⁴ その他、社会福祉士・精神保健福祉士以外の社会福祉に関する資格保有者が14.6%、教員免許保有者が34.6%、心理に関する資格保有者が15.9%、その他SSWの職務に関する技能の資格保有者が5.0%、資格を有していない者が39%であった。（文部科学省初等中等教育局児童生徒課（2021））

⁵ 立命館大学・野田正人、他「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究（文部科学省平成29年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書）」2018年

⁶ 鈴木庸裕（2008）p.29

問教師)としての活動がSSWの源流とされている。⁷翌年には同市公教育協会が訪問教師を雇用し、ボストン市では女性教育協会がウィンズロップ学区で家庭と学校を訪問するソーシャルワーカーを配置、また、コネチカット州のハートフォード市では精神科クリニックの院長が訪問教師を雇用するなど、東海岸を中心に子どもを取り巻く課題とその支援に関心が高まっていった。⁸1919年には訪問教師協会が設立され、1921年には政府からの予算化に基づき各地でモデルプロジェクトが展開される。その後、世界恐慌と精神衛生学の発達に伴い、困難を抱える子どもの診断や処置を行うケースワーカーとしての役割が発展し、アメリカにおけるSSWの実践と研究は臨牀的な内容へと変化していった。⁹

一方、1898年にニューヨーク市慈善組織協会(Charity Organization Society of New York)が慈善学校(Summer School of Philanthropy)を開講し、他地域でも実施されたことから1919年にはソーシャルワーカー訓練学校協会(後のthe American Association of Schools of Social Work, AASSW)が設立されるなど、アメリカでは同時期に専門職としてのソーシャルワーカーの実践、教育と社会的認知が広まって行った。¹⁰1955年には7つのソーシャルワークに関する組織・団体が全米ソーシャルワーカー協会(National Association of Social Workers、以下NASW)に統合され、SSWの実践と研究も徐々にソーシャルワーク全体の体系化の中に位置づけられて行く。1969年にはNASWと全国精神衛生研究所の後援によりペンシルベニア大学で「社会の変化とスクールソーシャルワーク」をテーマにSSWerの大会が開催され、1970年代後半には専門誌「School Social Work Journal」及び「Social Work in Education」が

⁷ 山下英三郎(2012) p.50

倉石一郎(2014)は「ビジティング・ティーチャー(visiting teacher: 訪問教師)とは、革新主義期のアメリカ合衆国において誕生し、学校に基盤を置きながら、長期欠席や怠学、学業不振、家庭の貧困や親による遺棄、疾病や障害、文化間葛藤や差別、非行など種々の困難に苦しむ子どもたちの救済・ケア・支援に奔走した人たちである」(p.7)と定義している。

⁸ 山下英三郎(2012) pp.50-51。山下英三郎は1800年代半ばから1910年代後半にかけて各州で導入された児童労働禁止法と義務教育法の影響や、急激な人口増によるコミュニティの崩壊が背景にあると論じている。

⁹ 厨子健一(2011) pp.92-93

¹⁰ Council on Social Work Education, 'The Road to 1952: AASSW and NASSA'. <https://cswe.org/About-CSWE> (閲覧日: 2021年5月31日)

刊行された。¹¹

1960年代には公民権運動、フェミニズム運動、障害者自立生活運動などの活発化に象徴されるように、公教育においてもマイノリティの子どもたちへの不平等が問題となり、SSWのあり方も個人への治療的なアプローチから、学校と家庭との関係を円滑にするための役割に注目が集まるようになった。また、教職員との協働、地域の諸機関との連携の機能が協調されるようになる中で、SSWerの実践のための理論モデルも呈示されるようになる。¹² 1978年にはNASWによりSSWの活動基準が初めて策定され、SSWerの実践のためのガイドラインが提供された。¹³

1975年には全障害児教育法（Education for All Handicapped Children Act of 1975）が制定され、ケースマネジメントを重視する視点に基づく1986年の法改正により、SSWerは障害を抱える子どもとその家族に対する早期介入サービスを実施する専門職の一員として位置づけられた。また、児童虐待とその他の心身の問題を抱える子どもへの支援ニーズも高まり、アメリカにおけるSSWerの活動形態は大きく生活問題への対応と障害児の支援の2つの活動に重点を置く者に分かれていった。¹⁴

以上、アメリカにおけるSSWの歴史を概観したが、一貫してSSWerの採用・配置の方針は州ごとに定められており、連邦政府機関によるSSWerの人数や活動実態に関する公式なデータは確認できない。1994年にはイリノイ州エドワーズビル市に20州の64名のSSWerが集結し、全国で唯一のSSWerの全国組織である全米スクールソーシャルワーク協会（School Social Work Association of America、以下SSWAA）が設立された。2021年5月現在、SSWAAの会員は全米48州から3万人以上となっており、30州が公式な連携機関として情報共有、専門性向上のための協力を行っている。後述するNASW、高等教育機関等の関係組織とともに、職能団体としてSSWの質保証、SSWerの養成・研修、SSWに関するアドボカシー、社会開発や政策立案に取り組んでいる。¹⁵

¹¹ 厨子健一（2011）pp.94-96

¹² 山下英三郎（2012）pp.52-53

¹³ 馬場幸子、高石啓人（2018）p.337

¹⁴ 山下英三郎（2012）p.53

¹⁵ SSWAA, 'Who we are'. <https://www.sswaa.org/about>（閲覧日：2021年5月31日）

3. アメリカにおけるスクールソーシャルワーカーの教育及び専門性の質保証のしくみ

日本ではソーシャルワーカーの資格は社会福祉士及び精神保健福祉士の国家資格とほぼ同義とされており、社会福祉士については「資格取得ルート」として4年生の福祉系大学における教育を対象とする第1号から、相談援助実務4年間及び1年以上の一般養成施設等における教育を対象とする第12号まで12種類の国家試験受験資格の方法が制度化されている。¹⁶ よって、ソーシャルワーク教育は、4年制の福祉系大学等を中心に「社会福祉士に関する科目を定める省令（平成20年文部科学省令・厚生労働省令第3号）」に定める「指定科目」（「相談援助実習」を含めた18科目）の履修を通して行われることが柱となっている。

一方、アメリカにおいては、ソーシャルワークに関する資格制度は州が定めており、また、ソーシャルワーク教育は多くの高等教育機関において、学部だけでなく大学院（修士課程及び博士課程）で実践されている。州を超えた全国的なソーシャルワーク教育の質保証、専門性の社会的認証については、全米ソーシャルワーク教育協議会（Council on Social Work Education、以下CSWE）及び全米ソーシャルワーカー協会（以下NASW）が中心となり、高等教育機関、各州、職能団体等との連携により展開されている。

以下では、CSWEのソーシャルワーク教育に関する認証制度と、NASWの「スクールソーシャルワーク・サービス基準」及び「スクールソーシャルワークの専門性認証制度」に分けて、アメリカにおけるSSWに関する質保証のしくみを分析する。

（1）CSWEによるソーシャルワーク教育に関する認証制度

CSWEは、1952年にアメリカのソーシャルワーク教育を代表する全国組織として設立された。全米の高等教育機関により提供されている750以上の学部、大学院修士課程のソーシャルワーク学位取得プログラムの認証を行っており、当該認証プログラムを有する教育機関と、それ以外のソーシャルワーク教育実践

¹⁶ 精神保健福祉士の「資格取得ルート」は第1号から第10号までの10種類となっている。（公益財団法人社会福祉振興・試験センターホームページ）

者、ソーシャルワーク実践者、ソーシャルワーク教育の質向上に関する機関等から構成されている。社会及び経済的正義を達成するためのソーシャルワークの専門性の発揮、そのためのソーシャルワーカーの教育とリーダーシップ・専門性の発達の機会創出を目的とし、各種事業に取り組んでいる。中でもソーシャルワークの分野ごとの専門性の認証制度の開発と運営が大きな事業となっており、制度を担うCSWEの認証委員会（Commission on Accreditation）は、高等教育アクレディテーション機構（Council for Higher Education Accreditation）¹⁷により、全米で唯一のソーシャルワーク教育に関する認証機関であることが認められている。¹⁸

アメリカではソーシャルワーク教育の認証の歴史は1932年まで遡ることができ、1937年には大学院のみを対象とする動きもあった。実際にはソーシャルワーカーの不足がソーシャルワーク教育におけるジェネラリスト・アプローチを後押しすることとなり、認証のあり方について混迷した時期もあった。CSWEの設立当初は、専門性のあるソーシャルワーク実践のための準備は修士課程の領分であるという認識に基づき、認証制度の対象は大学院修士課程の教育プログラムに限定をしていた。その後、大学側の要請もあり、1974年に学部を対象としたプログラム（Baccalaureate social work programs、以下BSW）へ対象が広がり、大学院修士課程を対象としたプログラム（Master's social work programs、以下MSW）との区別を行いながら認証基準が定められている。現在の認証基準において、BSWがジェネラリスト・ソーシャルワーク、MSWがスペシャライズド・ソーシャルワークを表すものとして定められている。¹⁹

¹⁷ 公益財団法人日本高等教育評価機構によると、CHEAは学位を授与する大学やカレッジから構成されている1996年に創設された非政府組織である。3000校の会員校を持ち、米国における大学あるいは高等教育機関のアクレディテーションについて、アクレディテーションに関する連邦政府へのロビー活動、高等教育機関のアクレディテーションを行うアクレディテーション機関（全米に85機関）のレビュー（監査）およびその承認、政策分析あるいはデータベースの提供などの会員に対するサービス、高等教育の質保証のための国際的な交流活動などの機能を果たしている。（日本私立大学協会『教育學術新聞』2019年2月27日、白川優治・評価システム改善検討委員会委員「米国CHEAの直面する課題と対応－平成28～29年度の海外調査研究から－」

¹⁸ CSWE, 'About Us'. <https://cswe.org/About-CSWE>（閲覧日：2021年5月31日）

¹⁹ CSWEのホームページの情報によると、現在、大学院博士課程を対象とした「Professional Practice Doctoral Program Accreditation」のパイロット・プログラムが進行中である。<https://cswe.org>（閲覧日：2021年6月4日）

その認証基準は「Educational Policy and Accreditation Standards for Baccalaureate and Master's Social Work Programs」(以下、EPAS)という名称が付けられ、最新の改訂は2015年に行われた。EPASは22ページにコンパクトにまとめられており、認証の目的は、専門プログラム及びそれを提供する教育機関が、所属する教育コミュニティと貢献を目指す社会に対し、教育のパフォーマンス、誠実さと質に関する信用を得られることを承認することであるとしている。²⁰

また、ソーシャルワークの専門性については以下のように定義をしている。「ソーシャルワークの専門性の目的は人類とコミュニティのウェルビーイングを促進することである。PIEフレームワーク²¹、グローバル視点、人類の多様性の尊重、科学に基づく知識の尊重に導かれ、ソーシャルワークの目的は社会正義及び経済的正義の探求、人権を侵害する状態の防止、貧困の撲滅、ローカル及びグローバルの全ての人のQOLの増進を通して実質化される。」²²

教育機関及び教育者の役割は、授業を通じた教育、学位取得制度、その他のサービスを通して上記目的の達成に貢献することであることが示されている。また、2008年以降はEPASの内容が生徒の学習成果に焦点を充てたコンピテンシー(成果につながる行動特性)を基盤とする教育内容に変更され、現在では9つのソーシャルワーク・コンピテンシーが掲げられている。それらは、①倫理的、専門的な態度を示す、②多様性の尊重とそれに応じた実践、③人権、社会的・経済的・環境上の正義の推進、④実践と科学的調査の双方向性の担保、⑤政策実践、⑥個人、家族、グループ、組織、コミュニティとのエンゲージメント、⑦個人、家族、グループ、組織、コミュニティのアセスメント、⑧個人、家族、グループ、組織、コミュニティへの介入、⑨個人、家族、グループ、組織、コミュニティとともに実践の評価・見直しを行う、である。²³

以上の理念に基づき、EPASは(1)プログラムのミッションとゴール、(2)エクスプリシットなカリキュラム、(3)インプリシットなカリキュラム、(4)

²⁰ CSWE (2015) p.4

²¹ 「Person-in-Environment」フレームワークのこと。

²² CSWE (2015) p.5

²³ Ibid, pp.6-9

アセスメントの4つの柱から統合的なカリキュラム・デザインを表している。²⁴ 例えば、(1) ではプログラムのミッションに関する宣言が定められ、それがソーシャルワークの専門性の目的と価値とどのような整合性があるのかを説明しているか、などの具体的な認証基準項目が定められている。(2) のエクスプリシット・カリキュラムとは、「ジェネラリスト実践」「スペシャライズド実践」「フィールド教育」の3つの項目ごとにBSWとMSWの詳細な基準が定められている。(3) インプリシットなカリキュラムは、「多様性」「学習者育成(入学、相談対応、在籍、退学、参加)」「教職員」「運営とガバナンス構造」「資源」の5つの項目に分類されている。(4) アセスメントについては、「学習成果」のみが基準として定められており、前述のコンピテンシーがその具体的な構成要素となっている。²⁵

これらのEPASに基づき、2021年2月現在までに536の学部プログラム、296の大学院修士課程プログラムが認証されており、それ以外に62のプログラムが候補として審査中である。認証された大学は全て公表されており、各大学の基本情報と連絡先、学部と大学院修士課程のどちらのプログラムレベルが認証されているか、それに基づきBSWとMSWのどちらの学位が授与されるか等の情報が掲載されている。²⁶

(2) NASWによるSSWの専門性に関する質保証制度

前項で述べた通り、NASWは1955年にSSWを含めた既存のソーシャルワークに関する組織・団体を統合する形で設立された全米のソーシャルワーカーの組織である。現在の会員数は10万人以上であり、世界で最も規模の大きいソーシャルワークの職能団体となっている。²⁷ 全州及びワシントンD.C.、ニューヨーク市など55の拠点事務所を設けており、年間4000万米ドルの予算を有し、220名の職員を雇用し、運営している。²⁸

²⁴ エクスプリシット・カリキュラムとは明示的なカリキュラムのことを指し、インプリシット・カリキュラムとは黙示的なカリキュラムのことを指す。

²⁵ Ibid, pp.10-19

²⁶ CSWE, 'Directory of Accredited Programs'. <https://cswe.org/accreditation/Directory-of-Accrediated-Prgrams.aspx> (閲覧日：2021年5月31日)

²⁷ NASW (2019)によると、全米のソーシャルワーカーの人数は680,000人。

²⁸ NASW, 'Facts About NASW'. <https://www.socialworkers.org/News/Facts/Facts-About-NASW>

活動には4つの柱があり、一つ目はソーシャルワークの質と効力の向上、二つ目はリーダーの育成、三つ目は正義のアドボケート、四つ目はソーシャル・インパクトのための多様な人・グループ・組織・機関等との協働である。以上に基づき、ソーシャルワーク実践の倫理綱領、実践領域ごとの基準などを定め、また500以上のソーシャルワーク教育を行う高等教育機関とのパートナーシップを構築している。

主な実践領域は、高齢者、メンタルヘルス、児童福祉、臨床ソーシャルワーク、エスニシティ・人種問題、保健、LGBT、SSWに分類されている。会員の9割は大学院修士課程の学位（MSW）を有しており、16年以上の実践経験のある会員の平均収入は45,000米ドルと報告されている。会員調査によると、主となる実践領域は40%がメンタルヘルス、6%がSSWと回答している。93%は自身の活動する州で何らかの資格、証明、登録などを有しており、7万人以上が後述するNASWによる専門性認証制度に基づく認証を有している。²⁹

NASWは、その設立前の源流の一つに訪問教師協会があり、SSWは歴史的にも裏付けのある、アメリカにおけるソーシャルワークの中できわめて重要な分野であると位置づけている。³⁰ 1978年には「スクールソーシャルワーク・サービスに関する基準」（NASW Standards for School Social Work Services）が策定され、数回の改訂を経て、現在は2012年に策定された基準が適用されている。

同基準は、「SSWerが学校組織の中で効果的に仕事をするために必要な技術、知識、価値、方法、感受性に関する意識を高めること」を目的としている。³¹ 教育・学校の改革、社会正義、重層的介入の3つの原則を掲げており、重層的介入については1層、2層が予防の視点に基づいた介入として定められている。具体的な基準は11設けられており、その内容は表1の通りである。

（閲覧日：2021年5月31日）

²⁹ Ibid.

³⁰ NASW（2021）p.1

³¹ NASW（2012）p.6、馬場幸子・高石啓人（2018）p.337

表1 NASW「スクールソーシャルワーク・サービスに関する基準」(2012)

基準	内容
基準1：倫理と価値	SSWerはソーシャルワークの倫理と価値を支持し、倫理的な意思決定を行う際にはNASW倫理綱領を参照し、同時にSSW実践の固有性と生徒、保護者、コミュニティを理解する。
基準2：資格	SSWerはNASWと各州の教育部門に定められた専門的実践のための規定を満たし、ソーシャルワーク及び当該地域の教育制度に関する基本的な知識と理解を有する。
基準3：アセスメント	SSWerは生徒の社会的、情緒的、行動的そして学習の成果の改善を目指し、個人、家族、システム・組織（教室、学校、近隣地域、行政区域、州など）のアセスメントを行う。
基準4：介入	SSWerは介入を行う際にはエビデンスに基づく実践を行うことを理解する。
基準5：意思決定と実践評価	SSWerはサービスを改善し、広げるために、データに基づいてサービス提供を行い、定期的にその実践を評価する。
基準6：記録作成	SSWerはSSWサービスの計画策定、実行と評価に関連する正確なデータと記録を保持する。
基準7：仕事量のマネジメント	SSWerは勤務する学校、学区の教育上のミッションにおける自身の決定的な役割を明確にし、その責任を果たすために自身の仕事量をマネジメントする。
基準8：専門性の開発	SSWerは生徒とその家族に最も新しく、有益で、文化的に適切なサービスを提供するために、知識とスキルを継続的に向上させる努力を怠らない。
基準9：文化的コンピテンス	SSWerは生徒とその家族が多文化理解とコンピテンスの下で提供されることを保証する。
基準10：分野横断的なリーダーシップと協働	SSWerはポジティブな学校環境づくりのためにリーダーシップを発揮し、サービスのアクセスと効果を高めるために必要な学校組織、教職員、家族構成員、コミュニティの専門家との協働を行う。

出所：NASW, 'NASW Standards for School Social Work Services', 2012, pp.7-14.

以上の「スクールソーシャルワーク・サービスに関する基準」は、州ごとに資格登録制度や採用基準も異なるアメリカにおいては、SSWerが提供するべきSSWサービスの具体的なベンチマークを示す重要な内容である。また、雇用者である州や教育機関も理解を共有することで、SSWerにどのような専門性と役割を期待できるかを示すことができる。また、同基準は、CSWEとは異なる視点で高等教育機関におけるSSW教育のガイドラインとなる。全米の

大学でソーシャルワークを学ぶ学部生、大学院生は共通のSSWサービスに関する基準を学修することにより、自身が専門職として実践を行うための指針を共有することができ、SSWer 同士のネットワーキングやアドボカシーの基礎ともなる。

次に、上記基準を元にNASWが開発・運営を行っているSSW専門性認証制度について分析する。専門性認証制度は、1997年にNASWが会員を対象とした調査を行った結果、回答者の6割が各分野の専門性認証に関心を示していることが明らかになり、さらに翌年にフォローアップ調査を行った結果、回答者の7割がNASWによる専門分野ごとの専門性認証制度の開発を望んでいることが確認されたことにより創設された。³² 以上の調査結果を踏まえ、専門領域および社会における承認を高め、分野ごとの専門性を有するソーシャルワーカーであることを可視化し、分野ごとの専門性を有するソーシャルワーカー同士の連携を生むことを目的にNASWは2000年以降に専門性認証制度（NASW Social Work Credentials）の構築に取り組み、表2の通り、2021年5月現在では10分野、18の専門性認証を行っている。

表2 NASWソーシャルワーク専門性認証制度の一覧

分野	認証制度名	学位要件
プロフェッショナル・ソーシャルワーク認証制度		
リーダーシップ	Academy of Certified Social Workers (ACSW) Diplomate in Clinical Social Work (DCSW)	MSW MSW
アドバンスド・分野別ソーシャルワーク認証制度		
依存症	Certified Clinical Alcohol, Tobacco & Other Drugs Social Worker (C-CATODSW)	MSW
ケースマネジメント	Certified Social Work Case Manager (C-SWCM) Certified Advanced Social Work Case Manager (C-ASWCM)	BSW MSW
臨床	Qualified Clinical Social Worker (QCSW) Clinical Social Worker in Gerontology (CSW-G) Certified Clinical Alcohol, Tobacco & Other Drugs Social Worker (C-CATODSW)	MSW MSW MSW

³² NASW (2021) p.5

教育	Certified School Social Work Specialist (C-SSWS)	MSW
老年学	Social Worker in Gerontology (SW-G) Clinical Social Worker in Gerontology (CSW-G) Advanced Social Worker in Gerontology (ASW-G)	BSW MSW MSW
ヘルスケア	Certified Social Worker in Health Care (C-SWHC)	MSW
ホスピス&緩和ケア	Certified Hospice and Palliative Care Social Worker (CHP-SW) Advanced Certified Hospice and Palliative Social Worker (ACHP-SW)	BSW MSW
軍事	Military Service Members, Veterans, and Their Families-Social Worker (MVF-SW) Military Service Members, Veterans, and Their Families-Advanced Social Worker (MVF-ASW) Military Service Members, Veterans, and Their Families-Clinical Social Worker (MVF-CSW)	BSW MSW MSW
若者&家族	Certified Children, Youth, and Family Social Worker (C-CYFSW) Certified Advanced Children, Youth, and Family Social Worker (C-ACYFSW)	BSW MSW

出所：NASW, 'Apply for NASW Social Work Credentials'. <https://www.socialworkers.org/> (閲覧日：2021年5月31日)

以上の通り、ソーシャルワーカーが活躍する幅広い分野における専門性の認証制度が確立されているが、その専門性を支える要件として、学位が重要な位置を占めていることがわかる。18の認証制度の内、学部レベルのBSWで認められているのは僅か5つであり、それ以外は全てMSW、つまり大学院修士課程の修了者でないと申請さえできないということを意味している。前述したCSWEの長年の方針と合致しており、アメリカにおけるソーシャルワーカーの専門性の評価と大学院教育が結びついていることが明らかである。

SSWの専門性認証制度(Certified School Social Work Specialist、以下C-SSWS)は、NASWの「スクールソーシャルワーク・サービスに関する基準」及びCSWEのソーシャルワーク教育プログラムの認証制度に基づいて設計されている。C-SSWSの主な制度内容は次の通りである。

まず、C-SSWSの資格要件が6つ設けられている。一つ目は、教育である。表2に示した通り、SSW分野については、必ずMSW学位要件を満たさなければ

ばならない。つまり、CSWEの認証を受けている大学院修士課程におけるソーシャルワーク教育プログラムに基づくソーシャルワークの修士学位の取得が必須要件となっているのである。C-SSWSのブックレットにはこの第一の要件に関しては一切の例外規定が定められていない。³³

二つ目は、実務経験である。MSW学位取得後、フルタイム、有給でスーパービジョンを伴う2年間（SSW実践の時間のみのカウントで2,160時間以上、直接支援を概ね週30時間行うこと）のSSWerとしての職務経験が求められる。他職務と兼務する場合は、主な職務としての経験でないとして評価されず、また、C-SSWSの申請時に現職であり、尚且つ向こう5年間は継続する見込みであることも要件として定められている。³⁴

三つ目はスーパービジョンと評価である。C-SSWSの申請時に2年以上（二つ目の要件の計算方法と同じ）のスーパービジョンを受けていなければならない。スーパーバイザーはMSW学位取得者で学位取得後、2年以上のSSWerとしての実務経験を有するものであることが原則とされ、修士学位以上を取得している州等による資格・登録・証明を有する精神科医、心理学者（PhDのみ）、カウンセラー等が例外的にスーパーバイザーとして認められている。いずれのスーパーバイザーもC-SSWSの申請書には自身の資格等に関する記載を行わなければならない。要件を満たしている場合は、当該申請者のSSWのスキル、知識と能力に関する評価を行わなければならない。評価項目は先の基準に基づき、36設けられており、全ての項目において「優秀」「平均」「最低限」「評価不能」「適性がない」の5段階評価を付ける様式となっている。³⁵

四つ目は、ソーシャルワークに関する推薦状である。これもMSW学位を持つソーシャルワークの同僚による推薦状であることが要件とされており、スーパーバイザーもしくは当該申請者がスーパーバイズを行う者であってはならない。推薦状は厳封され、提出される。³⁶

五つ目は、資格証明書である。資格証明書とは以下の5つのいずれかと定められている。一つは表2の「プロフェッショナル・ソーシャルワーク認証制度」

³³ NASW (2021) p.2

³⁴ Ibid.

³⁵ Ibid, pp.2-18

³⁶ Ibid, p.3

の欄にあるNASWのACSWもしくはDCSWの資格である。これらは分野横断的にソーシャルワークのリーダーシップを認証するものであり、NASWの専門性認証制度の中でも最も高く評価されている。その他は州単位で試験により実施されているMSWレベルの資格制度、その他の州単位の試験を有するSSWに関する資格や証明制度である。³⁷

最後に、六つ目は、C-SWSSの認証を受けた者は、2年に1回、更新を行わなければならないことである。更新にあたってはSSWに関する20時間の継続教育プログラムの受講が求められる。³⁸

申請書は、上記の6つの資格要件を満たしていることを確認する様式となっており、一つ目の学位についてはCSWEの認証を受けている各高等教育機関より当該申請者の学位証明書が直接、NASWに厳封により郵送されることも求められている。以上、C-SSWSは大変厳しい要件を定めているが、あくまでも任意の認証の制度であり、州のSSWerとしての資格・証明・登録等の制度に代わるものではないことも繰り返し説明がなされている。³⁹ それでも、前述のNASWの会員の概要で確認をした通り、10万人の内、7万人以上がC-SSWSを含めた専門性認証制度を利用している。アメリカではもはやSSWerにとっては大学院を修了し、MSW学位を取得した上で州ごとにSSWerとしての資格・証明・登録を得て職を確保し、SSW実践を担うことが当然のこととなっており、実践を積む中で、さらに自身の専門性の社会的認証を高めるためにNASWのC-SSWSの認証も得るというコースが一つのキャリア・パスとなっていることがうかがえる。

次項では、以上のキャリア・パスの前提となっている大学院におけるソーシャルワーク教育の内容を分析する。

4. 大学院におけるスクールソーシャルワーカーの教育プログラムの分析

以下では、ソーシャルワーク教育・研究を1898年に開始したアメリカで最も歴史のあるコロンビア大学の「Columbia School of Social Work」（以下、

³⁷ Ibid.

³⁸ Ibid.

³⁹ Ibid, pp.1-6

CSSW) を対象とし、アメリカの大学院における SSW 教育の目的・理念、カリキュラム、教育方法、学位取得プロセスの分析を行う。

(1) CSSW の歴史

コロンビア大学は1754年に「キングス・カレッジ」として創立されたことから始まり、1896年に大学院が開設されたと同時に「Columbia University」に名称が変更された。その中で、CSSWは、1898年に慈善組織協会(COS)によって慈善活動のためのサマースクールがアメリカ合衆国で最初のソーシャルワーク教育機関としてニューヨーク市に設立されたことをその歴史の発端としている。その後、1904年にはコロンビア大学との連携の下で、「New York School of Philanthropy」(1917年にNew York School of Social Workに名称変更)において、8か月コースの大学院が開設された。さらに、1906年にコロンビア大学のアフリカ系アメリカ人として初の博士学位取得者であるG.E.ヘインズ博士が在学中のソーシャルワーク教育で得た知識等を活かして全米都市同盟(National Urban League)の設立に貢献し、大学はその創設を支援した。⁴⁰

1922年にはニューヨーク市教育委員会において児童相談局(Bureau of Child Guidance)が創設され、同局の児童相談活動のための教育・訓練を同大学が担うこととなった。その中心人物となったのがヘレン・ハリス・パールマンである。同局はニューヨーク市ハーレム地区の学校へのサービス提供も行い、パールマンの指導により、生徒個人への介入だけでなく、学校への働きかけを行い、生徒の学習意欲を高め、子どもの社会的・情緒的機能の発達を促すことを目指した。パールマンはその後のCSSWの学校に焦点を充てたSSWの実践的教育の礎を築いたと評価されている。⁴¹

その後、1929年以降の世界恐慌による大規模な失業、貧困等の生活問題を背景に、アメリカでは世界初となる社会保障法の制定に向かったが、コロンビア大学は同法の草案作成と成立への貢献を行った。1952年にはソーシャルワークの初の博士号が授与され、1963年に「Columbia University School of Social

⁴⁰ Columbia School of Social Work, 'Historical Timeline'. <https://socialwork.columbia.edu/about/> (閲覧日: 2021年5月31日)

⁴¹ Feldman, R.A. and Kamerman, S.B. ed. (2001) p.315

Work」に名称変更となった。それ以降、児童養護、家族支援を中心に、幅広いソーシャルワーク分野における研究、理論化と教育実践が展開され、ニューヨーク市、全米各地、そして世界の多様な市民とコミュニティの福祉の向上のための実践に貢献をしている。現名称のCSSWへの変更は2013年に行われ、翌年よりオンラインキャンパスも展開している。⁴²

SSWについては、1975年の全障害児教育法の制定と以降の度重なる改正を背景に、1992年にCSSW全体のカリキュラムの見直しを行い、その結果、SSWに求められる基礎知識、実践方法、政策フレームワークを他分野と異なる独立した実践領域として設計する必要性が認められた。その結果、1993年にMSW課程に新たに「学校関連及び学校を基盤としたソーシャルワーク実践領域 (School-Linked and School-Based field of practice)」が設けられ、1995年より授業が開始された。⁴³

(2) CSSWの修士課程 (MSW) 教育プログラムの目的・理念と内容

CSSWは、CSWEの認証を受けたMSW学位 (Master's of Social Work) 及びソーシャルワーク分野の博士学位 (Doctor of Philosophy in social work) の課程を運営している。学部教育は行っておらず、一方で、ソーシャルワーカーの卒後・継続教育プログラムの提供を行っている。修士課程 (MSW) はオンライン・プログラムの選択肢を用意しているが、博士課程は対面のみの教育課程となっている。

CSSWの目的・理念は2020年に掲げられた「社会正義のアクションのための研究室 (Action Lab for Social Justice)」というミッションに表されている。特に新型コロナウイルス感染症拡大以降は、「COVID-19 Action」イニシアティブが策定され、全米及びニューヨーク市の何千ものコミュニティ・メンバーの心理教育と社会政策の教育・訓練と、ニューヨーク市における地域社会、非営利組織、その他の社会サービス提供機関のためのボランティア・コーディネーション・サービスを創出することを目指している。また、「アクションの

⁴² Columbia School of Social Work, 'Historical Timeline'. <https://socialwork.columbia.edu/about/> (閲覧日: 2021年5月31日)

⁴³ Feldman, R.A. and Kamerman, S.B. ed. (2001) pp.316-317

ための倫理」イニシアティブも策定され、その達成のための手段として、教育、実践、研究が定義されている。いずれも今、社会で生じている問題に対する具体的な行動と貢献を目指す内容であり、CSSWの社会的意義と役割を明確に表している。⁴⁴

MSWのカリキュラムは、特にリスクの高い人口の社会・経済の正義の促進、多様な人口とのソーシャルワーク実践、実践のアウトカムの評価に力点が置かれている。その構成は、1) プラットフォーム（通学制かオンライン制）とプログラム（2年制を含めた7つのプログラム）の選択、2) ソーシャルワークの専門領域（4つの方法論と7つの実践分野）の選択、3) デュアル・ディグリー（教育学・ビジネススクール・法科・建築学・ユダヤ学・保健学・国際協力等の9つの他大学院コース）かマイナー（経営管理・刑法・国際社会福祉・法学・公共政策・情報メディアの6つのディシプリン）の選択を行う仕組みにより構成されている。以上の内容により学際的な学修と多様な学び方を保証している。⁴⁵

2) の4つの方法論は、①上級の臨床ソーシャルワーク実践、②上級のジェネラリスト実践とプログラム開発、③政策実践、④社会起業アドミニストレーションから構成されている。同じく、2) の7つの実践分野は、①高齢化・老年学、②現代的な社会課題、③家族・若者・児童サービス、④保健・メンタルヘルス・障害、⑤国際社会福祉・移民・難民、⑥SSW（School-based and school linked services）、⑦労働・雇用から構成されており、SSWerを目指す大学院生は実践分野の⑥を選択した上で、方法論及び他の実践分野と組み合わせることでその学びを深めることができる。

前述のCSWEの基準に応じて、次のコースが要件とされている。それらは、人間行動と社会環境、社会福祉政策とサービス、研究、ソーシャルワーク実践、フィールド教育である。上記の中でもフィールド教育が上級ソーシャルワーク学位の特色として認識されている。MSW課程の修了要件は60単位の取得であるが、その内、42単位がコースワーク、18単位がフィールド教育という位置

⁴⁴ Columbia School of Social Work, 'Mission'. <https://socialwork.columbia.edu/mission/>（閲覧日：2020年9月23日）

⁴⁵ Columbia School of Social Work, 'Your MSW Pathway'. <https://socialwork.columbia.edu/academics/>（閲覧日：2020年9月23日）

付けになっている。尚、18単位のフィールド教育は1200時間、その内、ジェネラリスト・レベルが600時間、アドバンス・スペシャリスト・レベルが600時間と定められ、CSWEの定めるEPASのエクспリシット・カリキュラムの中でもフィールド教育が重視されていることが明らかである。

SSW領域におけるフィールド教育は、大きく分けて学校におけるSSW実践（school-based field placements）と、学校と関連する学校以外の社会サービス提供機関におけるSSW実践（school-linked field placements）の二種類が用意されている。前者は学校にフルタイムで配置され、学校に配置されているSSWerのスーパーバイズを受ける。後者については、多くの場合は学校にいる生徒へのサービス提供を体験するが、生徒とその家族にサービスを提供する専門職者と連携、協働を行う機会を得ることができる。⁴⁶

以上、本稿ではコロンビア大学のCSSWのみを分析対象としたが、その結果から、社会人をはじめとする多様な学生を対象とするアメリカにおける大学院教育では、多様な学修方法の提供、方法論の重視、そして、上級ソーシャルワーク学位であるMSWの特色として、フィールド教育の重視の3つの特徴が抽出された。SSWer教育において、歴史のあるコロンビア大学においても、前述のCSWE、NASW等の質保証のしくみの中で、広くソーシャルワーク教育を展開するカリキュラムの一つの柱としてSSW実践領域を位置づけ、キャンパス内での知識、スキル等の修得を豊富なフィールド教育における実践を通じて定着させる教育方法であることが明らかになった。アクションを重視するCSSWにおいては、大学院修了後、NASWの認証制度等を活用し、キャリア・アップを実現する中で、再びCSSWに戻り、卒後・継続教育を受けることができる重層的な教育プログラムが提供されていることも重要な特徴と言える。

5. スクールソーシャルワーカー養成における大学院教育の意義に関する考察

以上の分析の結果、アメリカでは、訪問教師の活動から始まり、教育福祉、児童福祉、障害児教育の実践の歴史とともに高度な専門性を有するSSWというスペシフィック・ソーシャルワークの領域が確立してゆく過程が明らかに

⁴⁶ Feldman, R.A. and Kamerman, S.B. ed. (2001) p.320

なった。そして、アメリカでは1930年代よりソーシャルワーク教育全般において高度で専門的な研究と学修が行える大学院レベルのプログラム化が進み、大学院をはじめとする高等教育機関のソーシャルワーク教育プログラムの認証制度が1952年のCSWE設立後に確立した。SSWer教育は、ソーシャルワークの重要な実践領域の一つとして教育の質保証のしくみに組み込まれて行き、1978年にはNASWによるSSWサービスの基準が定められ、以降、SSWの専門性認証制度（C-SSWS）も創設された。

以上のCSWE、NASWの有機的な連携によるSSW質保証のしくみを支える基盤となる大学院教育については、高度専門職業人材としてのSSWerの養成のために、社会人をはじめとする多様な学生を対象とする大学院教育において、1) 多様な学修方法の提供、2) 方法論の重視、3) 上級ソーシャルワーク学位の特色としてのフィールド教育の重視の3つの特徴が抽出された。特にフィールド教育の重視については、コロンビア大学では1200時間の実習が学位取得の要件とされることに象徴されるように、SSWの実践の現場と研究の場である大学院との往復を前提とした教育プログラムが運営されていることが注目される。

現在、日本におけるSSWerの養成は、社会福祉士及び精神保健福祉士の国家資格取得のための教育プログラムと、それらをベースとした一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟による「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業」の認証を受けた大学等の高等教育機関における教育プログラムの提供によって行われている。しかしながら、ソーシャルワークの国家資格を有するSSWerの配置・採用は広がらず、SSW及びSSWerに関する社会的認知も極めて低い状態にある。その要因でも結果でもあるSSWerの専門職としての処遇改善も大きな課題となっている。そして、大学院におけるSSWer教育は近年、始まったばかりであり、アメリカのBSWとMSWのような学部と大学院修士課程におけるカリキュラム等の区別は十分に構造化されていない。

そもそも日本では、大学院進学が伸びず、大学院修了という学位に対する企業や社会の評価も高くない。この問題を指摘している小熊英二は、国際比較では、日本の大学院進学率が伸びない結果、相対的に「日本の低学歴化」が起きていると述べている。その要因として、専門の学位が評価されるのではなく、

入試に通過したという能力が評価されること、そして日本の雇用慣行が影響している」と論じている。⁴⁷

このような現状を踏まえると、日本国内におけるSSWの専門性が発揮できるSSWer教育のあり方に対して、アメリカのSSWer教育とその専門性の質保証のしくみはあまり参考にならないように捉えられる可能性がある。しかし、本稿では、SSWerがSSWの専門性を発揮するためには、大学等の高等教育機関だけでなく、自治体をはじめとする行政機関、教育機関、職能団体、教育認証機関等のあらゆる組織・団体が連携をし、社会全体でその目的を達成するためのシステムを構築して行くことが不可欠であることが確認できた。また、専門職としての社会的認知のためには、その専門性の質保証が必要であり、そのために大学院における教育が有効であることがうかがえた。本稿では文献・資料を基にした一つの大学の分析しか行えなかったが、分析対象を広げ、分析方法もSSW教育を受ける大学院生、MSWとして活躍をするSSWer、CSWEの認証プログラムを運営する大学教員及び関係機関等へのインタビュー調査を実施することにより、今後の日本における大学院のSSW教育への示唆が与えられることが期待できる。今後の研究課題としたい。

謝辞

本論文は、令和3年度東北公益文科大学学内研究助成プロジェクト型研究「大学院におけるスクールソーシャルワーカーの養成に関する研究－国内外の教育プログラムの比較分析を中心に－」の助成を受けた共同研究の成果の一部として執筆しました。本研究の遂行にあたり、調査活動にご協力を頂きました岩手県立大学社会福祉学部の先生方、山形県内のスクールソーシャルワーカーの皆様、共同研究者の日比眞一先生、研究協力者の本間圭太郎さん、杉山義法さん、齋藤鈴さんに心より御礼申し上げます。

⁴⁷ 小熊英二『日本社会のしくみ－雇用・教育・福祉の歴史社会学』講談社、2019年、pp.60-94

参考文献・資料

- ・青木紀「アメリカにおけるスクール・ソーシャル・ワーク」『教育福祉研究』第3号、1997年、pp.8-26
- ・倉石一郎『アメリカ教育福祉社会市序説－ビジティング・ティーチャーとその時代』春風社、2014年
- ・厨子健一「アメリカにおけるスクールソーシャルワーク研究の展開と課題」『社会問題研究』第60巻、2011年、pp.91-104
- ・鈴木庸裕「『学校ソーシャルワーク』専門職の養成をめぐる実習カリキュラムの一考察－社会福祉と学校教育の結節点をめぐって－」『学校ソーシャルワーク研究』第3号、2008年、pp.25-40
- ・馬場幸子、高石啓人「『日本版スクールソーシャルワーク実践スタンダード』の開発－研究者と実践者との共同開発プロセスに着目して－」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系Ⅱ』第69集、2018年、pp.337-351
- ・山下英三郎「第3章 スクール（学校）ソーシャルワークの発展過程」社団法人日本社会福祉士養成校協会監修『スクール（学校）ソーシャルワーク論』中央法規出版、2012年
- ・Council on Social Work Education Commission, Commission on Accreditation, Commition on Educational Policy, '2015 Educational Policy and Accreditation Standards for Baccalaureate and Master's Social Work Programs', July 2015.
- ・Feldman, R.A. and Kamerman, S.B. ed., *The Columbia University School of Social Work: A Centennial Celebration*. Columbia University Press, 2001.
- ・National Association of Social Workers, 'NASW Standards for School Social Work Services', 2012.
- ・National Association of Social Workers, 'Social Workers Serve All Communities', 2019.
- ・National Association of Social Workers, 'Information Booklet with Application and Reference Forms: Certified School Social Work Specialist (C-SSWS)', 2021. 注：最終改訂年が記載されていないため、本稿では2021とする。